

令和6年11月1日（金）第2校時
 場所 被服室
 授業者 上島郁美

1 題材名 学校・家庭・地域がつながる持続可能な消費生活を目指して（消費生活・環境）

2 題材の目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、学校・家庭・地域を結び付けた実践的・体験的な活動を通して、持続可能な消費生活の基礎的な理解を図り、それらに係る技能を身に付け、課題を解決する力や自立した消費者としての責任ある消費行動を工夫し創造しようとする実践的な態度を身に付ける。

3 題材の評価規準

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について理解している。	身近な消費生活の中で、自立した消費者としての責任ある消費行動について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	持続可能な消費生活について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。

4 題材の構想

(1) 題材について

消費生活において、消費者市民社会の担い手として自覚をもち、環境や社会に配慮した消費行動がとれる自立した消費者へと育てていくことが求められている。中学生も小学生と比べると行動範囲が広がり、物資やサービスを購入するといった消費生活が身近になってきているが、消費者の一員であるという自覚は薄い。そのため、一人の消費者として、社会や環境のことを考え、持続可能な消費生活が送れるように工夫することが必要である。

そこで、本題材「C 消費生活・環境」（2）「消費者の権利と責任」の学習においては、自分が使っている身近なものを取り上げる。グループやクラス全体的話し合いができる教材として「自転車」や「制服・体操服」などを取り上げて、権利や責任を自覚し行動できる生徒、環境や社会に配慮した消費行動がとれる生徒の育成を目指す。また、「地元の自転車屋さん」「地元企業が作っている制服・体操服」を授業に取り入れることで、学校・家庭・地域を結び付けた学習内容とし、地域において環境や社会に配慮した消費行動とはどんなことかについて考えさせたい。そして、そのようなことは難しいことではなく、小さな消費行動も継続して、多くの人が行うことで持続可能な社会の構築につながることを学ばせたい。

(2) 生徒について

生徒たちに、「環境のためにできること、持続可能な社会のためにできることは何があるだろうか。」という質問をすると、「エネルギーの節約」「詰め替え用の商品を購入する」「ペットボトルなどごみの分別をする」などの回答をする。一方で、これらの行動を家族任せにしたり、学校の落とし物があっても持ち主が見つから

ず、自分の持ち物を大切にしていなかったりする。また、「衣服の選択と手入れ」の学習では、「処分・廃棄」についてはあまり関心がなく、簡単に「メルカリで売る」「捨てる」などと答える生徒も多く、衣服の処分についても家族に任せきりで、実践していることもあまりないことがわかった。生徒たちは、持続可能な消費行動について知識として理解しているが、実際に行動に移せていないことが多いため、身近なことを取り上げ、普段の生活の中でできる持続可能な消費行動を見つけ、実践する態度を養いたい。

(3) 授業について

中学生でも生活経験の乏しい生徒が多く、実生活の中から問いを見つけることが難しい。本題材の授業では、学びのプロセスの中の「①気付き」の部分に重点を置く。授業の中で、生徒たちが自分ごととして考えやすくするために、次のような授業を展開していく。

- ・自転車や制服・体操服といった学校生活に身近なものを使う。
- ・生徒が自ら判断できる場面設定を行い、生徒間で共有する。「もし～なら・・・」

第1時では、「もし自転車を買って、ブレーキがきかずケガをしたら」という場面設定を行い、消費者の基本的な権利と責任について理解させ、自分の消費行動が社会に及ぼすことに気付かせる。「行動した場合」「行動しなかった場合」を比較しながら考えていく。行動すれば安全面に十分配慮した製品が作られ、より良い商品の開発につながり、行動しなかったら同じようにケガをする人が増えるかもしれないことや販売店の信用が失われてしまうこと等につながり、自分の行動が社会に影響を与えていることに気付かせる。生徒や保護者からの要望により制服や体操服が改良されている例を紹介し、行動することで自分の身近なところも変わっていくことを伝える。「買い物は投票である」という言葉にあるように、より良い商品を買ひ、問題のある商品は買わない、報告する等一人ひとりの消費者が責任ある行動を取ることで消費者の権利が守られていることに気付かせたい。

第2時(本時)では、学生の中に利用し、卒業後に役目を終える制服や体操服の活用法について考えていく。「もし制服や体操服が不要になったら」「もし制服や体操服が必要になったら」という場面設定を行い、地元企業で作られた制服や体操服を学校・家庭で使い、また地域で活用していく持続可能な取り組みを話し合うことを通して、消費者としての責任ある行動について気付かせる。本校ではPTAバザーの活動において、制服や体操服を低価格で販売している。社会や人・環境のことを考えた取り組みではあるが、売れ残りなどの課題があることに気付かせる。体操服や制服を譲る人と購入したい人はそれぞれ何を望んでいるかについて比較し考えさせる。制服や体操服が必要なときに手に入れるための仕組みをグループで考える活動を行う。校区でのみ使われている制服や体操服を地域で活用する具体的な方法を話し合うことで主体的・協働的・探究的な学びにつなげていく。

第3時から第5時では、「〇〇〇(実践内容)が△△△(持続可能な社会)への初めの一歩」と題し、生活全般において学校・家庭・地域など身近なところで行われている持続可能な取り組みを見つけたり、これから自分にできそうな取り組みについて考えたりするための計画を具体的に立てていく。計画をもとに家庭で実践を行い、クラスで発表を行う。このように、学びのプロセスの中の「②課題設定」「③構想・計画」「④実践・提案」「⑤省察」へと学びを進めていく。自分の活動を振り返るだけでなく、友達の発表を聞いて新たな課題に気付き、自分にできる消費行動は何か考えるきっかけとし、さらに実践を進めていく。

5 指導と評価の計画（第2学年5時間）

時間 指導 事項	ねらい・学習活動	○：評価規準 と ◇：評価方法		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度
1 C(2)	○消費者の基本的な権利と責任について理解することができる。 ・購入した自転車に不具合があったとき、自分ならどうするかについて考える。 ・行動の仕方によって社会はどう変化するか考える。	○消費者の基本的な権利と責任について理解し、自分や家族の消費生活が社会に及ぼす影響について理解している。 ◇ワークシート		
2 C(2) 本時	○自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について考え、工夫することができる。 ・不要になった制服や体操服の活用方法を考える。 ・制服や体操服が必要なときに手に入れるための持続可能な仕組みを話し合う。		○持続可能な消費生活を目指し、課題と解決策について考え、工夫している。 ◇ワークシート	
3 4 5 C(2)	○自立した消費者としての責任ある消費行動を考え、工夫することができる。 ・学校・家庭・地域の消費生活の中から持続可能な取り組みを見つけたり、計画したりして実践する。 ・実践を発表し合い、活動を振り返り次の学びへとつなげる。			○自立した消費者として、課題の解決に主体的に取り組む、工夫し実践しようとしている。 ◇発表、 ワークシート

6 本時の授業（2／5）

(1) 目標

持続可能な消費生活を目指して課題に気付き、自立した消費者として責任ある行動を考え、工夫することができる。

(2) 準備物

タブレット端末、プロジェクター、スクリーン、動画

(3) 学習展開

○学習活動 と ・予想される生徒の活動	●指導上の留意点 と ☆評価
<p>○制服や体操服は着なくなったらどうするか考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家に保管する。 ・売る。 ・捨てる。 ・バザーに出す。 <p>○学校のバザーで売れ残った体操服や制服の写真を見て、問題点を知ろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バザーに出したものが必ず売れるわけではない。 ・売れ残ったものの保管場所に困る。 	<p>●アンケートをとり、自分の生活を振り返り、結果から問題意識を高め、課題を見つけやすいようにする。</p> <p>●衣服の生産から廃棄までの流れを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産→流通・販売→購入→廃棄→処理 <p>●バザーに出せば、衣服の再利用につながっているか問いかける。</p>
<p>持続可能な消費生活を目指して、できることを考えよう</p>	
<p>○体操服や制服を譲る人、購入したい人はそれぞれ何を望んでいるのか整理しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・譲る人・・・リサイクルできる、ごみが減る ・購入したい人・・・安く手に入る、欲しいサイズがある、比較的きれいだとい <p>○制服や体操服が必要なときに手に入れるための仕組みを考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フリマアプリに出品するのはどうかな。 ・地区の広報誌に載せるといいよ。 ・学校のホームページで在庫情報がわかるといいよ。 <p>○出されたアイデアについて具体的な方法を話し合い、発表しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バザーをする時期や回数を考えるといいね。 ・小学6年生の子が小学校で制服や体操服を買える日を設けよう。 ・学校のホームページに制服や体操服の写真やサイズを載せようか。 <p>○本時の振り返りをしよう。</p>	<p>●学校の体操服や制服は越前市の企業が生産、販売を行い、校区でのみ使われるものであることをおさえる。</p> <p>●各グループで話し合い発表し、アイデアを共有し、取り組めそうなアイデアに絞る。</p> <p>●出されたアイデアの中から考えたいアイデアをグループで決め、話し合うよう伝える。 話し合いのポイントを示す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の中で行えること ・譲る人・購入したい人の望み <p>●生徒から出されたアイデアが持続可能な取り組みになっているかを問いかける。</p> <p>●不要になった学生服を「おさがり学生服」参加店に持っていけば、学生服を欲しい人がクリーニング代のみで引き取ることができる取り組みがあることを紹介する。</p> <p>●地域の中で持続可能な消費生活のためにできることは何かを考えるように伝える。</p> <p>●衣生活に限らず、自分にできる持続可能な取り組みについて考えるように助言する。</p> <p>☆持続可能な消費生活を目指して、課題と解決策について考え、工夫している。</p> <p>【思・判・表】 (ワークシート)</p>

